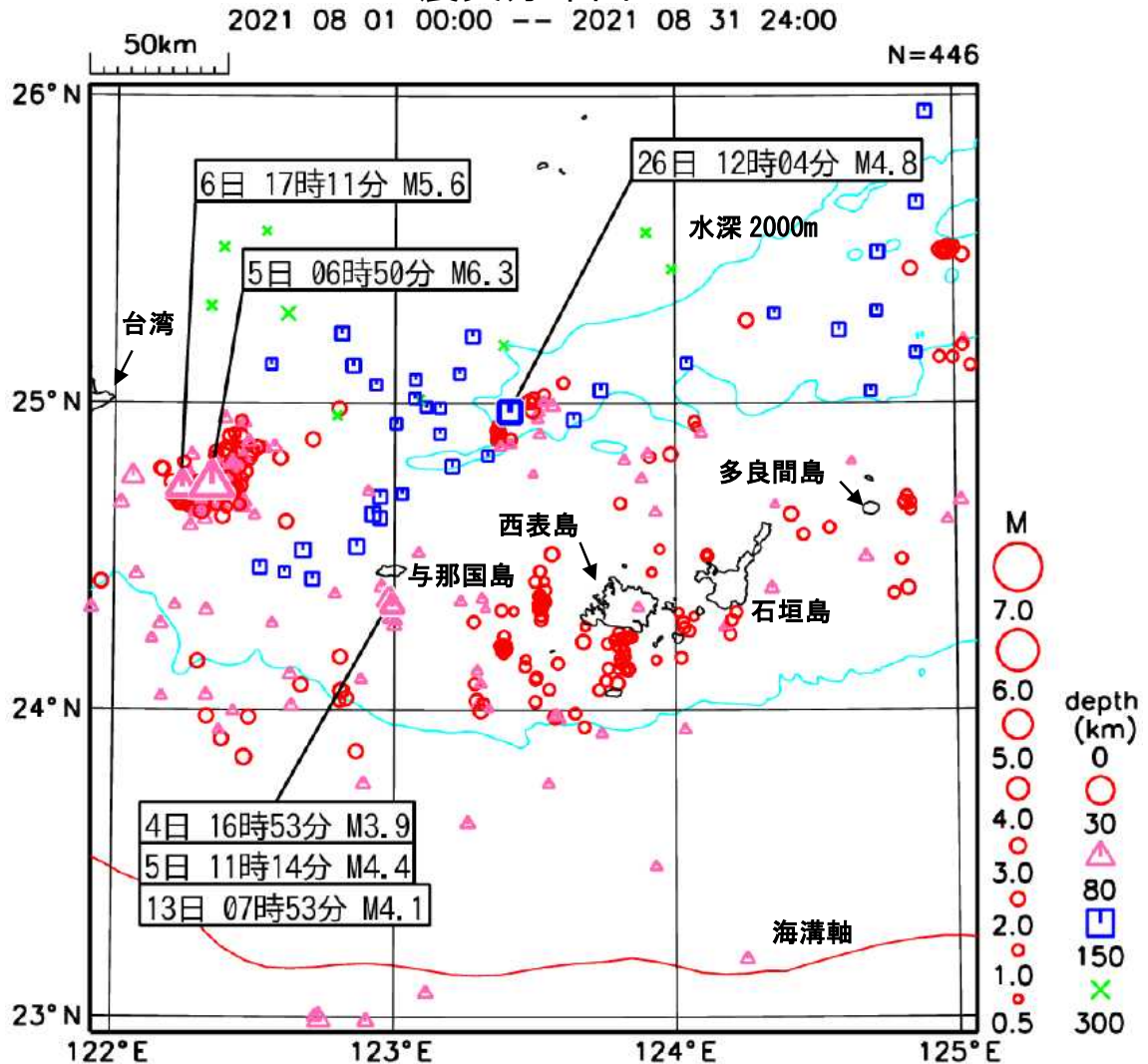


# 八重山地方の地震活動

令和3年(2021年)8月

石垣島地方気象台

## 震央分布図



図中の記号 M : マグニチュード depth : 震源の深さ  
N : 地震の回数(マグニチュード 0.5 以上の回数です)  
八重山地方で震度1以上を観測した場合は、吹き出しで示しています。

### 【概況】

今期間、八重山地方で446回(7月は457回)の地震を観測しました。震度1以上を観測した地震は6回(7月は1回)でした。

5日06時50分に台湾付近(与那国島の西北西約70km)で発生した地震(M6.3)により与那国町で震度3を観測したほか、石垣島から与那国島にかけて震度2~1を観測しました(別紙参照)。この震央付近では、6日17時11分(M5.6)にも与那国町で震度2を観測する地震が発生しました。

5日11時14分に与那国島近海(与那国島の南南西約15km)で発生した地震(M4.4、深さ49km)により西表島や与那国島で震度2~1を観測しました。この震源付近では、4日16時53分(M3.9、深さ48km)と13日07時53分(M4.1、深さ48km)にも与那国島で震度1を観測する地震が発生しました。

26日12時04分に石垣島近海(石垣島の北西約100km)で発生した地震(M4.8、深さ120km)により多良間島から波照間島にかけて震度1を観測しました。

## 八重山地方で震度1以上を観測した地震一覧（期間：8月1日～31日）

震源時 各地の震度	震央地名	緯度	経度	深さ	規模
2021年08月04日16時53分 沖縄県 震度 1	与那国島近海 与那国町祖納, 与那国町久部良, 与那国町役場*	24° 20.4' N	122° 58.7' E	48km	M3.9
2021年08月05日06時50分 沖縄県 震度 3 震度 2 震度 1	台湾付近 与那国町久部良, 与那国町役場* 与那国町祖納 石垣市新栄町*, 竹富町大原, 竹富町黒島, 竹富町波照間, 竹富町上原小学校	24° 44.0' N	122° 20.8' E	55km	M6.3
2021年08月05日11時14分 沖縄県 震度 2 震度 1	与那国島近海 与那国町祖納, 与那国町久部良, 与那国町役場* 竹富町上原青年会館*	24° 21.5' N	122° 58.8' E	49km	M4.4
2021年08月06日17時11分 沖縄県 震度 2	台湾付近 与那国町祖納, 与那国町久部良, 与那国町役場*	24° 43.5' N	122° 14.4' E	50km	M5.6
2021年08月13日07時53分 沖縄県 震度 1	与那国島近海 与那国町久部良	24° 20.3' N	122° 59.5' E	48km	M4.1
2021年08月26日12時04分 沖縄県 震度 1	石垣島近海 多良間村塩川, 石垣市平久保, 石垣市新栄町*, 竹富町大原, 竹富町波照間	24° 58.3' N	123° 24.6' E	120km	M4.8

\*の付いた地点は気象庁以外の震度観測点です。

※八重山地方以外に震度が観測された場合は、その震度も記載します。

### ※ 資料中のデータについて

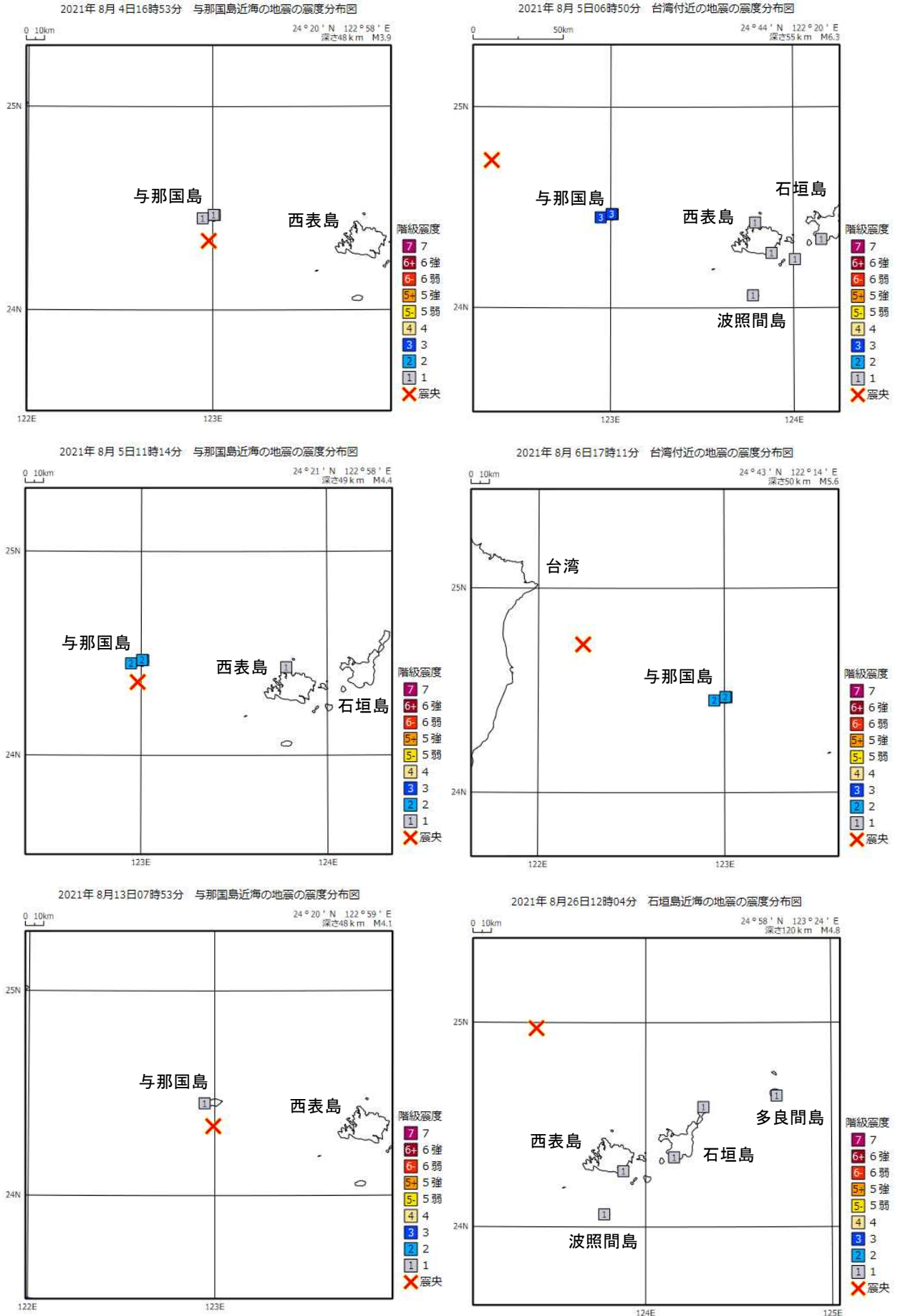
この資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

### ※ 概況中の震源の深さについて

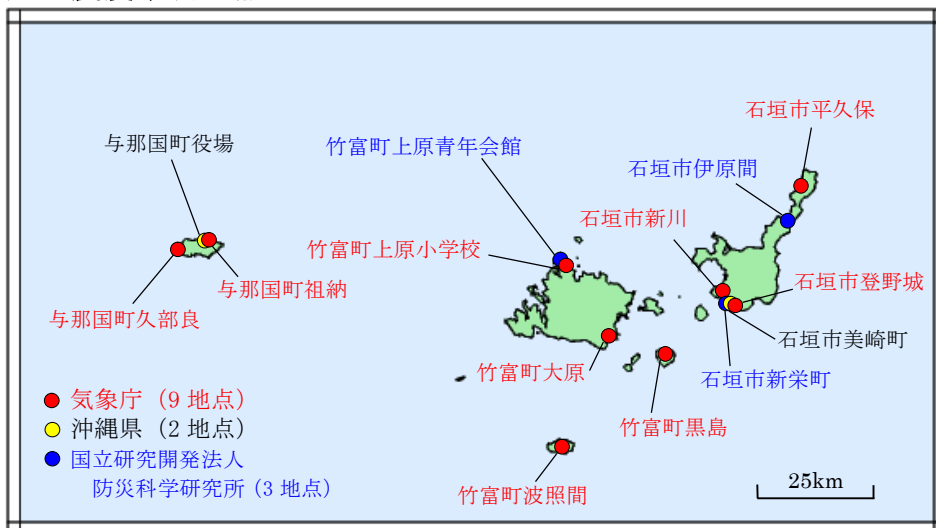
震源の深さは、精度がやや劣るものは表記しないことがあります。

※ データについては精査により、後日修正することがあります。

# 八重山地方で震度1以上を観測した地震の震度分布図



## 八重山地方の震度観測地点



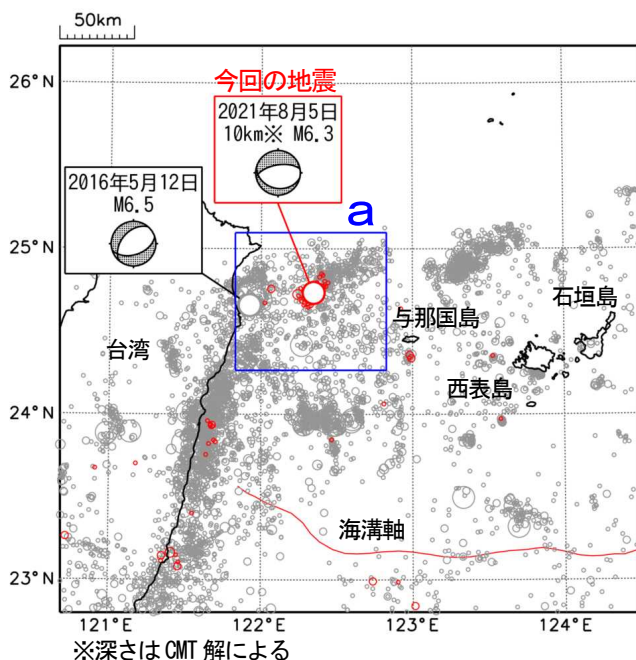
過去の地震活動は石垣島地方気象台のホームページで閲覧できます

URL <https://www.data.jma.go.jp/ishigaki/press/jishinkatsudo/jishin.html>

本件に関する問い合わせ先 石垣島地方気象台 0980-82-2159

## 8月5日 台湾付近の地震

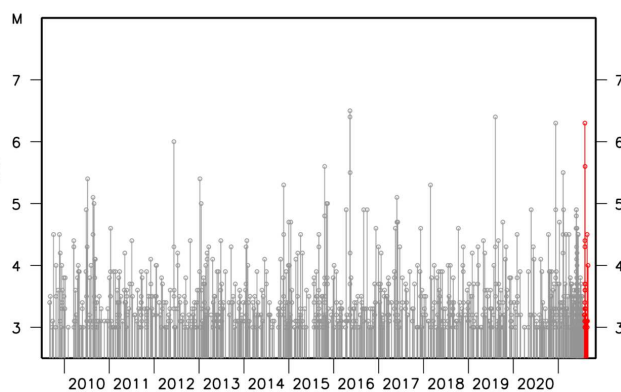
震央分布図  
(2009年9月1日～2021年8月31日、  
深さ0～100km、 $M \geq 3.0$ )  
2021年8月の地震を赤く表示  
図中の発震機構はCMT解



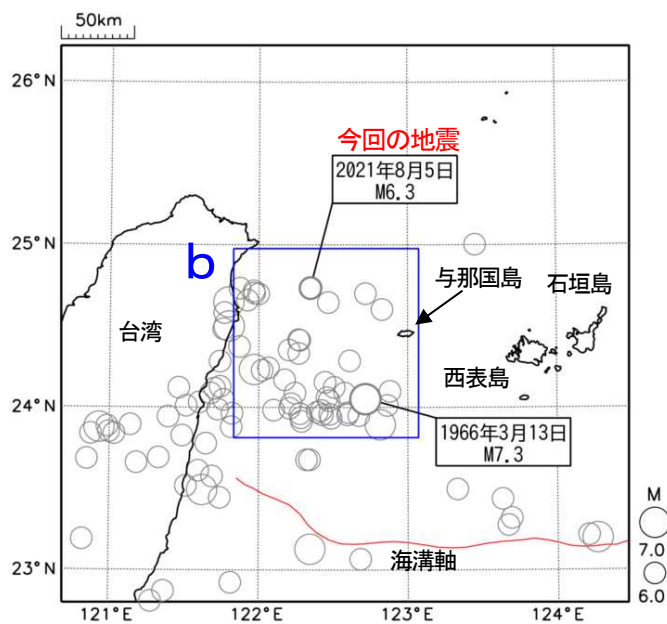
2021年8月5日06時50分に台湾付近の深さ10km（CMT解による）でM6.3の地震（日本国内で最大震度3）が発生しました。この地震の発震機構（CMT解）は、南北方向に張力軸を持つ正断層型で、陸のプレートの地殻内で発生しました。

2009年9月以降の活動をみると、この地震の震央周辺（領域a）では、M6.0以上の地震が時々発生しており、2016年5月12日のM6.5の地震では、日本国内で最大震度2を観測しています。

領域a内のM-T図

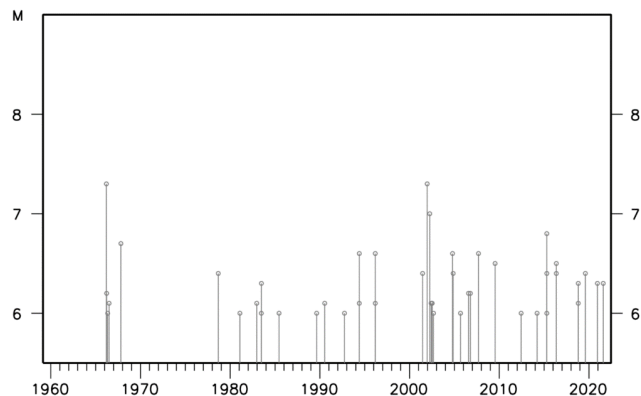


震央分布図  
(1960年1月1日～2021年8月31日、  
深さ0～100km、 $M \geq 6.0$ )



1960年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M7.0以上の地震が3回発生しており、このうち、1966年3月13日のM7.3の地震では、与那国島で死者2人や家屋の全半壊等の被害が発生しました（被害は、「日本被害地震総覧」による）。

領域b内のM-T図



(この期間は検知能力が低い)